様式２　令和４年度職能研修　特別支援学級等新任担当教員研修会

|  |
| --- |
| 「交流及び共同学習の実際」協議資料　　（※該当する箇所は、□⇒■に変更してください）提出用 |
| 学校名 | 　　　　立　　　　　　　　　学校 | 氏　名 |  |
| 担当する学級 | □知的障がい　　　□自閉症・情緒障がい　　　□その他（　　　　　　　） |
| 担当する学級の児童生徒数※（人数） | 小１（　）　 | 小２（　）　 | 小３（　）　 | 小４（　） | 小５（　）　 | 小６（　） |
| 中１（　）　 | 中２（　）　 | 中３（　）　 |  |
| １．事例とする児童生徒の学年【　　　　】※１人の子どもの事例を取り上げてください。　 |
| ２．「交流及び共同学習（通常の学級と特別支援学級）」を行っている教科等がある場合は、実際に交流及び共同学習を行う時数を（　　）に記入してください。 |
| 国語科（　　　） | 社会科（　　　） | 算数科・数学科（　　　） | 理科（　　　） | 生活科（　　　） |
| 音楽科（　　　） | 図画工作科・美術科（　　　） | 体育科・保健体育科（　　　） | 技術・家庭科（　　） |
| 外国語活動・外国語科（　　） | 総合的な学習の時間（　　） | 道徳科（　　） | 特別活動（　　） | □特になし |
|  |
| ３．「交流及び共同学習」を行っている児童生徒の様子について※学習内容の理解度や学習への意欲、参加状況等を記入してください。 |
| ○　 |
| ４．「交流及び共同学習」を行っている教師間の連携について※通常の学級の担任・教科担任と特別支援学級の担任との間で、情報共有はどのように行っていますか。 |
| ○　 |
| ５．今後、「交流及び共同学習」の充実のためには、どのようなことに取り組む必要があると思いますか。 |
| ○ |

様式２　令和４年度職能研修　特別支援学級等新任担当教員研修会

|  |
| --- |
| 「交流及び共同学習の実際」協議資料　　（※該当する箇所は、□⇒■に変更してください）記入例 |
| 学校名 | 　　　　立　　　　　　　　　学校 | 氏　名 |  |
| 担当する学級 | ■知的障がい　　　□自閉症・情緒障がい　　　□その他（　　　　　　　） |
| 担当する学級の児童生徒数※（人数） | 小１（　）　 | 小２（　）　 | 小３（　）　 | 小４（３） | 小５（２）　 | 小６（２） |
| 中１（　）　 | 中２（　）　 | 中３（　）　 |  |
| １．事例とする児童生徒の学年【　小６　】※１人の子どもの事例を取り上げてください。　 |
| ２．「交流及び共同学習（通常の学級と特別支援学級）」を行っている教科等がある場合は、実際に交流及び共同学習を行う時数を（　　）に記入してください。 |
| 国語科（　　　） | 社会科（　　　） | 算数科・数学科（　　　） | 理科（　３５） | 生活科（　　　） |
| 音楽科（　　　） | 図画工作科・美術科（　　　） | 体育科・保健体育科（１０５） | 技術・家庭科（　　） |
| 外国語活動・外国語科（３５） | 総合的な学習の時間（７０） | 道徳科（　　） | 特別活動（　　） | □特になし |
|  |
| ３．「交流及び共同学習」を行っている児童生徒の様子について※学習内容の理解度や学習への意欲、参加状況等を記入してください。 |
| ○　対象児童は、通常の学級の友達と一緒に学習できることを楽しみにしている。特に、体を動かしたり、物を作ったりする活動に興味をもって参加している。○　学習活動の中で自分の考えを伝えることができるので、交流先の友達との話合いに参加している。○　外国語科は、読み方の分からない単語や文があるので、苦手意識をもっている。外国語科の時間になると、「行きたくない」という声が聞かれる。 |
| ４．「交流及び共同学習」を行っている教師間の連携について※通常の学級の担任・教科担任と特別支援学級の担任との間で、情報共有はどのように行っていますか。 |
| ○　新しい単元の学習を始める前に、個別の指導計画をもとに、学習に参加できそうな活動を確認し合っている。難しい場合は、特別支援学級で学習するようにしている。○　交流及び共同学習の際には、支援員に見守りをしてもらっている。通常の学級の担任の指示が分からない時は、支援を行うようにしている。○　通常の学級の担任から、学習の様子を定期的に確認する機会を設けている。 |
| ５．今後、「交流及び共同学習」の充実のためには、どのようなことに取り組む必要があると思いますか。 |
| ○　「交流及び共同学習」に参加している児童の様子が十分に把握できていないため、通常の学級の担任や支援員との間で、定期的に情報交換をする機会を設ける。○　交流及び共同学習において、対象児童が学習内容を理解できるよう、交流先の担任と手立てについて話し合うようにしたい。 |